



会長 佐々木 源 悦  
 幹事 岩 渕 正 彦  
 会報 江 川 元 徳 氏 家 良 典  
 及 川 勝 永 布 施 孝 尚

例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327  
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

## 第2414回例会 2013. 8. 29 No. 8

### 本日の出席率

・本日の出席率 98%

### ニコニコボックス

- ・佐々木源悦会長 佐藤仁南三陸町長を歓迎します。
- ・阿部泰彦会員 ゲストスピーカー、南三陸町佐藤仁町長をお迎えして！大変ご多忙のところ誠にありがとうございます。
- ・佐藤静市会員 私事ですが、我社、(株)ヤマサ事務機の社長を愚息長男・政寛にゆずり、取締役会長に就任することになりました。会員皆様には公私共変わらぬご指導を賜りますよう、宜しくお願い致します。
- ・鈴木彦太会員 本日のスピーチ阿部泰彦会員、ゲストスピーカーとして南三陸町長をお迎えし、大変ご多忙のところ震災復興等について何卒宜しくお願い申し上げます。
- ・及川勝永会員 佐藤仁南三陸町長を大歓迎致します。阿部泰彦会員、スピーチ担当ご苦労様です。
- ・菅原文之会員 佐藤仁南三陸町長、布施孝尚登米市長を歓迎して。南三陸町、登米市の将来は、両者の双肩にかかっています。健康に留意され健闘を祈る。
- ・高田次雄会員 もう実りの秋。台風さけてほしいです。佐藤仁南三陸町長を歓迎して。
- ・岩渕正彦幹事以下 佐藤仁南三陸町長を歓迎して。  
 村上武彦会員 佐々木崇会員 佐藤幸一会員  
 八谷郁夫会員 佐藤敬喜会員 千葉吉男会員  
 氏家良典会員 伊藤俊郎会員 菅野幸一郎会員  
 山田直志会員 佐藤静市会員 遠藤光則会員  
 猪股育夫会員 熊谷敏明会員 小泉洋会員  
 高橋利光会員 布施孝尚会員 小野寺伸浩会員  
 富士原裕子会員 武川毅会員 岩渕栄市会員  
 佐藤早智子会員

以上、ありがとうございました。

### 会長要件 佐々木源悦会長

佐藤仁南三陸町長にはお忙しいところ、又、遠いところお出でいただき誠にありがとうございました。スピーチの方、よろしくお願い致します。

前回の例会で、佐沼中学校ソフトボール部、女子剣道部全国大会出場に際し支援の要請があり、例会に出席された会員の多くの方々からご支援をいただき、翌日持っていき、及川校長、高橋教頭の両先生に渡しました。全額で3万円でした。大変喜んでいただき、今後共お互いに協力し佐中とロータリークラブとで色々なことをやっていくという話し合いをしました。地域の人たちから支援をいただくことは大変嬉しいことで今後とも協力していくことでした。

先日のパスト会長会には多くのパスト会長に出席いただきありがとうございました。当クラブのパスト会長会は大変素晴らしく、多くの参考意見をいただきました。パスト会長のご指導を得ないと会長職を務めるのは大変だと思っております。色々なご意見を参考にしながら理事会に諮り、会の運営をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

今日は、南三陸町の佐藤仁町長よりスピーチをいただくことになっております。先日、商売の関係で南三陸町に行き、皆様の暖かい気持ちに触れて参りました。復興は進んでいるとは言え、まだまだの状況です。阿部泰彦復興支援特別委員長を中心として、これからは出来るだけ南三陸町復興のための支援をしていきたいと思っております。

### 幹事報告 岩渕正彦幹事

- ・ガバナー事務所より
- 1. RYLA (ライラ) の案内  
 日時 10月19日(土) 14時~ 10月20日(日) 12時半  
 会場 岩手県立県南青少年の家  
 登録料 5,000円
- 2. 9月のロータリーレート 1ドル=100円

- ・川崎大師RCより、会報が届く
- ・余目RCより、活動計画書が届く
- ・佐沼中学校より  
 全国大会の結果報告及び支援へのお礼状が届く
- ・ときめき市民コンサート実行委員会より  
 第9回ときめき市民コンサートへの協力依頼  
 日時 11月24日(日) 14:00~  
 場所 登米祝祭劇場・大ホール

### 今週のスピーチ

南三陸町町長 佐藤 仁様

皆さん、こんばんは。南三陸町の佐藤です。今日は、ロータリークラブの例会にお招きいただき、心から厚くお礼を申し上げます。

震災から間もなく2年と6ヶ月を迎えます。震災以来ロータリークラブの皆さんには大変ご支援、ご声援を戴きお礼申し上げます。佐沼クラブの皆さんには、全国のロータリークラブのご支援をつないでいただき、南三陸町への支援の手を差し延べていただきました。そういった活動を展開していただきました佐沼ロータリークラブの皆さん方のご支援、ご協力に心から感謝を申し上げさせていただきますと思います。



スピーチをする佐藤仁南三陸町長

町の復興状況についてお話し致します。この120年で南三陸町は4回の津波で被害を受けています。明治29年、昭和8年、昭和35年(チリ地震)、今回の東日本大震災です。30年に1回の割合で津波被害を受けていることになります。今回の東日本大震災が一番大きな被害でございます。当時のテレビのテロップには南三陸町の安否不明1万人、17,600人の町民のうち1万人が安否不明と流れておりました。是非とも今後は津波で1人の犠牲も出さないという決意をいたしました。そういった観点で我々の復興計画の基本中の基本は、寝ていても安心な所に住む、それが高台移転ということになっており、現在28の高台移転のための団地を造成していきますが、そのうちの10ヶ所は着工済みです。残りの分につきましても年内に全て着工していきたいと考えております。

町民の皆様にとりましては、なかなか山を削ったりというのが大きく見えてこない復興が前に進まないという思いをお持ちいただくのも事実です。マスコミの方々から「南三陸町の復興は早いと思いますか、遅いと思いますか」と言う質問をいただきますが、私は愚問だと言っております。と言いますのは、今回の被災は、それぞれの自治体によって被災状況が違います。ある意味で南三陸と女川は町が壊滅です。それ以外の気仙沼、石巻、県南の分野につきましては海岸部分はやられましたが集団移転で後の方に行けば建物が建てられるという地形になっております。そういった意味で、我々の町は正しく山を削ってその削った土を

下に埋めて、かさ上げをして業の部分と高台の住まいの部分の2つを同時にしていかなければならないという大変な事業をかかえております。今の南三陸町の町をご覧いただくと分かるのですが、70cm地盤沈下しており、この間の高潮の際には45号線から海岸線まで海水で埋まってしまいました。高台移転をして土を削ってそれを埋めていきますが、その高さは旧十日町、五日町辺りは約10mのかさ上げになります。防潮堤の高さが8.7mですので、橋が12m~13mの高さで入ってきます。川を通り越すとだんだん6%~7%の勾配で降りていきます。従って今の町の中の45号線の高さは8m~9mの高さになります。そこに土を埋めていきますので、防潮堤はいらぬのではないかと声があります。うちの町は防潮堤の8.7mより高いかさ上げをしますので、大変見晴らしの良い土地が出来てきます。そこに業の場所を作りたいと考えております。

その中でも様々な問題が生じてきております。水産加工場を作る計画、商業・観光ゾーンを作る計画を立てていますが、既存の商業地との兼ねあい、三陸縦貫道の志津川インターチェンジが2年後に共用開始となることなど諸問題があり、様々なコンサルティングを含めて、色々な方々にご相談をしながら進めていかなければいけないと思っております。

復興のスピードとよく言われます。町民の皆様にとってみれば2年以上も仮設住宅にお住まいになっておられますので、「町は一体何をやっているのだ」という声をよく聞きます。この間、安倍総理がお出になった際も「町としての課題は何か」と問われ、2つお話ししました。

1つは財源確保の問題。5年となっている復興交付金をもう少し先に延ばしていただき、必要な財源についてはしっかり担保してほしい。もう1つは、課題が色々ありましたが、大体集約して参りました。その集約した課題をどう解決するか、これはほとんど制度の問題です。制度をどう変えていくかということになります。これまで2年半の間、我々がずっと戦ってきたのは制度をどの様に柔軟に運用していただくかということでした。制度を復興に合わせるのではなくて、復興に制度を合わせる位の思い切ったやり方をしないとこの東日本大震災の大被害から復興するのは難しいということを話しました。

この様に災害と制度との矛盾というのを語り続けて走り続けて参りました。

— 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。



佐藤仁町長を囲んで